

令和7年度 学校安全優良校推薦資料

推薦者名称

刈谷市教育委員会教育長 金原 宏

【推薦理由】

富士松中学校は、広い学区を有しているために、交通安全を含めた安全教育に力を入れている。また、地域の企業や自治会等と連携した顕著な活動を行っており、その効果もあり管理下における重大な死亡事故や傷害事故が数年起きていない。計画的かつ組織的な安全教育や施設管理、地域と連携した活動は特色があり、学校安全優良校として推薦するに資すると判断した。

| | | | |
|----------------|-------------------------------------|---------|--------------|
| ふりがな 学校(園)名 | かりやしりつふじまつちゅうがっこう 刈谷市立富士松中学校 | | |
| 所在地 | 〒448-0005 刈谷市今川町花岡114番地 | | |
| ふりがな 校(園)長名 | あいば たかひこ 相羽 孝彦 | 電話番号 | 0566-36-0402 |
| メールアドレス | fujichu@school.city.kariya.aichi.jp | ファックス番号 | 0566-36-9645 |

1 学校(園)の概要 (人数及び学級数は、令和7年5月1日現在)

| | | | | | |
|--------------|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 教職員数 | 36 人 | | | | |
| 学級数 | 19 学級 | | | | |
| 幼児児童生徒数 | 561 人 | | | | |
| 管理下の 重大事故 | | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| | 死亡事故 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 |
| | 障害事故 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 |
| 過去の 表彰受賞歴 | 平成28年度学校保健及び学校安全表彰 文部科学大臣表彰 | | | | |

2 学校安全に関する特色ある取組や研究実践

富士松中学校には、学校安全の取組について、体験的な活動や、地域との連携を意識した活動がいくつかある。例えば避難訓練では、近隣の企業と連携して代表生徒による水消火器を使った模擬消火活動や煙の中での避難体験を行っている。また、交通安全の取組では、交通安全委員会による啓発活動や交通安全集会を行っている。さらに、地域との連携では、地区の主催による防災講習会に有志生徒が参加している。詳細については、後述するが、未然に事故を防ぐための活動だけでなく、「いざ」という時に生かせるような体験的な取組をしているところが、特色として挙げられる。

3 学校安全に関する取組

(1) 安全教育について

資料No. 1～2

富士松中学校では、生活アンケートを学期毎に年3回実施し、いじめがないか、学校生活に困り事がないかを、確認している。また、いじめや困り事のあるなしにかかわらず、全生徒と担任が一对一で面談を行っている。さらに、中学校入学時から毎日生活ノート（連絡帳＋4行日記）を担任に提出する事が習慣化されており、常に生徒からのSOSを察知できる環境が整えられている。これらの取組により、生徒と教員との距離感を縮め、相談しやすい関係づくりに努めている。

富士松中学校は、全校生徒の約8割が自転車通学者である。毎年年度当初の4月に、交通安全を喚起するための交通安全集会を開き、交通安全担当の教員がプレゼンテーションを使った指導を行い、自転車乗車時の事故を無くすように努めている。また、その集会の中では、交通安全委員会によるスローガン発表や横断幕の披露を行っている。交通安全の啓蒙をするだけでなく、生徒の自主性を育む場ともなっている。

近年増加傾向にあるSNSを介したトラブルに対しては、毎年、携帯電話会社や刈谷警察から講師を招聘し、「携帯電話・スマートフォンの使い方教室」を開催している。具体的な事例から学ぶ機会を設けることで、SNSの正しい利用について生徒自らが考え、行動できるよう促している。例年3学期に行っている次年度の新生を対象とした入学説明会時には、保護者向けに同様の教室を開催し、保護者にも安全教育に協力を依頼している。

(2) 安全管理について

資料No. 3～4

富士松中学校では、年2回、4月と9月に避難訓練を実施している。避難経路の確認や迅速な避難の訓練だけでなく、より実際の災害を想定した訓練になるよう、内容の検討をしている。例えば、9月の避難訓練の一週間後に、予告なしの避難訓練を実施し、訓練の学びを確認する場を設けている。

富士松中学校の生徒には、食物アレルギー等の発作により、万が一の際にエピペンを使用する生徒が複数名いる。毎年4月当初に、養護教諭を講師としたエピペンの使い方講習会を行っている。教職員がエピペントレーナーを使って練習をしたり、実際に発作が起こった場面をシミュレーションした練習も行ったりしている。

また、水泳の授業が始まる前の6月には、毎年心肺蘇生法の研修会を行っている。刈谷市の研修で学んできたことを伝達講習するという形で行っており、講師は市の研修を受講した若手教員が務めている。毎年講習に参加しAEDの使い方を熟知したベテラン教員には再確認の場として、若手教員には講師を務めることで「いざ」という時に自信をもって躊躇なくAEDを使えるよう意識を高める場として行っている。

校内の安全管理については、毎月15日に教職員で管理場所の安全点検を、学期末には校地内すべての施設を対象とした学校施設の安全点検を行っている。異常があれば市の教育総務課に連絡を取り、常に危険個所や不具合の早期発見、早期対応に努めるようにしている。

(3) 家庭・地域等との連携について

資料No. 5～6

富士松中学校では、PTAが中心となって行う、PTAセーフティプランを行っている。2008年5月に、富士松中学校区近郊で起きた女子高校生が被害者となる殺人事件をきっかけに当時のPTAにより発案されたプランで、今年度で18年目を迎える。児童生徒の登下校時に、玄関先の掃除をしたり、買い物や散歩がてらに外出したりした時、小中学生に挨拶をして積極的に声をかけようという取組である。より多くの地域の方の目が小中学生に向くことにより、不審者を近づけないことをねらいとしている。生徒・保護者への周知のために、スローガンを書いたうちわを作製し全校生徒に配付したり、PTAの理事・役員会や、学校運営協議会の場などで配付したりし、地域の方にも協力を依頼している。

富士松中学校の東隣には、自動車関連の大企業がある。この企業と連携して、交通安全を呼び掛けたり、防災意識を高めたりする活動を行っている。自動車関連企業ということもあり、交通安全に対する取組にはとても力を入れている。そして、近隣の小中学校の児童生徒にも交通安全に対する意識を高めて欲しいという願いから、企業のバレーボールチームやハンドボールチームに所属する日本を代表する選手らが昇降口前に立ち、生徒会役員と共に立哨運動を行ってくれている。また、本年度は新たな取組として、同企業内の研修用として導入している煙体験テントや、本物の薬剤を使った消火器、非常ベル体験器などを用いた防災講習会を実施した。中学校では用意できないさまざまな物品を用いた体験活動により、生徒の防災意識を高めたり、「いざ」という時に落ち着いて行動できるようにしたりする取組となっている。

また、富士松中学校では、昨年度から地域学校協働活動が本格的にスタートした。これにより、各地区のコーディネーターが中心となって、各種行事の運営や清掃活動に、中学生の参加を呼び掛ける体制ができた。これに応えるように生徒たちも、意欲的に地域のボランティアに参加する姿が見られるようになった。この活動を通して、生徒が地域の方々と関わり合うことで、地域の一員としての自覚をもち、自己肯定感や自己有用感を育む場となっている。

(4) その他特筆すべき内容

資料No. 7

富士松中学校では、PTA環境整備を毎年5月に行っている。校内の除草や側溝の掃除を通して、生徒が怪我なく安全に学校生活を送れるように環境を整える活動である。例年多くの保護者や生徒が参加し、今年度も60名を超える参加者があった。自分たちの学校をみんなできれいにし、安全に過ごせるようにしようという意識が保護者等に根付いており、毎年恒例の活動となっている。

また、近年の学校保健委員会では、株式会社明治から毎年講師を招聘し、1年生の生徒を対象とした熱中症対策の講義を行っている。1日に必要な水分量や熱中症を防ぐ対策について知る機会となり、生徒の安全や健康への意識を高める場としている。このような取組を行うことにより、学校全体で熱中症等の事故の未然防止に努めている。